

名古屋大学のNextビジョン2027と戦略

－世界と伍する研究大学を目指します－

ミッション

自由闊達な学風の下、研究と教育を通じて新たな価値を創造し
人々の幸福に貢献する。

- 創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- 自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。
- 先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- 立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- 国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。
- 東海国立大学機構とともに、知とイノベーションのコモンズとして国立大学の新たな形を追求し続ける。

強み

- ノーベル賞に代表される尖がった研究力(国際高等研究機構)
- ものづくりの拠点 東海地域の立地に基づいた産学官連携の推進(未来社会創造機構)
- 社会課題解決のための独立研究科の設置(国際開発研究科・環境学研究科)
- アジアサテライトキャンパスを中心としたアジア展開
- リーディング・卓越大学院に代表される博士教育(博士課程教育推進機構)
- He For Sheを代表とする女性活躍

Nextビジョン2027

世界屈指の研究大学へ、
進化し続け未来を拓く
名古屋大学

学び働くことに
誇りと喜びを感じる
名古屋大学



4つの戦略

[戦略]

1

教育・人材育成



高大接続から大学院、学び直しまで
シームレスに紡ぐ国際通用性のある教育・人材育成

[戦略]

2

研究・価値創造



世界トップ研究者が集う知の梁山泊が生み出す
知的成果の創出と価値化

[戦略]

3

社会連携・産学連携



世界有数の産業集積地に根ざし、新たな価値を創造し
グローバル/ローカル課題の解決に貢献

[戦略]

4

国際展開



ニューノーマル時代の
新たな国際展開

大学運営方針

名古屋大学の4つの戦略と大学運営方針

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、研究と教育を通じて人々の幸福に貢献することを目指して、2027年までのビジョンと戦略を策定しました。

[戦略]

1

教育・人材育成

高大接続から大学院、学び直しまでシームレスに紡ぐ
国際通用性のある教育・人材育成

1

国際通用性のある新たな教養基礎教育の確立

2

国内外から多様で優れた学生を獲得、積極的な交流を通じインクルーシブなキャンパスを実現

3

既存の学問領域の枠にはまらない大学院学位プログラムの設置

4

博士人材育成に向けた積極的経済支援とキャリア形成サポートの充実

5

リカレント・リスキリング教育の充実、拡大



[戦略]

2

研究・価値創造

世界トップ研究者が集う知の梁山泊が生み出す
知的成果の創出と価値化

1

知の地平線を拡張、新たな「知」を集積する基礎研究と、集積された知を価値化し、社会実装・社会変革に繋げる応用研究の両輪で生み出す世界屈指の研究成果

2

名古屋大学の研究者を核に国内外のトップ研究者が集う中核的研究拠点の形成と若手中心萌芽的拠点の積極的育成

3

大学院後期課程から博士研究員、若手教員、PIまで、シームレスに支援する若手支援総合パッケージ構築

4

支援スタッフ増員とコアファシリティの整備による研究専念環境構築

5

多様な研究者がアンダーワンルーフで集い連携し新たな分野を創造



[戦略]

3

社会連携・産学連携

世界有数の産業集積地に根ざし、
新たな価値を創造しグローバル/ローカル課題の解決に貢献

1

未来創造マインドの醸成と起業支援による新たな産業エコシステムの創成

2

大学の総合知を結集したカーボン・ニュートラル実現をはじめとするグローバル課題の解決

3

パートナー企業との戦略的連携、ディープテックベンチャーによる社会課題解決の加速とグローバル展開



[戦略]

4

国際展開

ニューノーマル時代の新たな国際展開

1

戦略的パートナー大学との連携で進める世界トップレベルの国際共同研究、国際共修、スタートアップ推進

2

グローバルマルチキャンパスを活用したテラーメイド型留学、国際プログラムなどによる双方向の留学生数の飛躍的増加

3

国際広報の強化による研究成果の積極的な海外への発信とレピュテーションの向上



大学運営方針

1

総長・執行部と部局長・部局構成員との対話と改革理念の共有を通じた大学将来像の共有

2

トータルバジェットに基づいた資源の戦略的配分と事業ポートフォリオ名古屋大学基金をコアとしたエンダウメントの醸成

3

執行部、教員、職員、学生すべてについて多様性(女性、外国人など)と包摂性による組織活性化を確保